催事報告書

エコーガイド下穿刺セミナーを開催しました

茨城県臨床工学技士会 血液浄化ワーキンググループは、2026 年 10 月 25 日（日）、つくばセントラル病院にて「1 日でマスターするエコーガイド下穿刺セミナー」を開催しました。より多くの方に実技の機会を提供できるよう、午前・午後に同内容のプログラムを各 1 回、計 2 クール実施。各回定員 10 名、合わせて 20 名の皆様にご参加いただき、両回とも欠席者なく開催することができました。

開催概要

開催日時	2026 年 10 月 25 日（日） 午前の部 9:00〜12:00／午後の部 13:00〜16:00（2 クール）
会場	つくばセントラル病院 D 館 1 階 A・B 会議室
主催	茨城県臨床工学技士会 血液浄化ワーキンググループ
後援	茨城県看護協会／日本臨床工学技士会
参加者	午前 10 名・午後 10 名、計 20 名
講師	基礎講義：山﨑 琢也 先生（つくばセントラル病院）
実技指導	山﨑 琢也先生、並木 暢也 先生、長谷川 勇太 先生、上ノ町 力 先生、深谷 昇太朗 先生
協力企業	コニカミノルタジャパン株式会社／メディキット株式会社／KOTOBUKI Medical 株式会社

セミナー内容｜講義から実技へ、段階を踏んで学ぶプログラム

はじめに、エコーガイド下穿刺の基本となる考え方や画像の見方について講義を行い、その後は少人数のグループに分かれてハンズオンを実施しました。超音波診断装置のゲイン・深度・フォーカスなどの設定やプローブの操作を確認したうえで、血管の短軸・長軸描出、針先の位置確認、スイープ法・スイング法を用いた穿刺、針先が血管から外れた場面を想定した修正操作など、段階的な課題に取り組みました。

模擬血管モデルを使った、繰り返しの実践練習

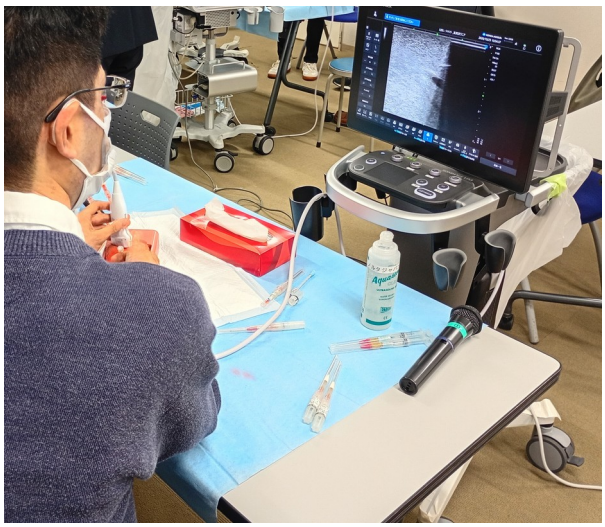


実習では、コニカミノルタジャパン株式会社の超音波診断装置、メディキット株式会社の穿刺針などの実技用物品、KOTOBUKI Medical 株式会社の血管穿刺モデル「ライク・ベッセル」を使用しました。画面上の血管や穿刺針を確認しながら、実際に手を動かし、講師からその場で助言を受けられることが、対面型ハンズオンならではの特徴です。

午前・午後ともに、少人数でじっくり実習

午前の部、午後の部ともに、基礎講義からハンズオンまで同じ内容で構成し、一人ひとりが機器に触れる時間を確保しました。受講者は講師に疑問点を確認しながら、プローブ操作と穿刺操作を繰り返し練習。会場では複数の実習ブースで、超音波画像を見比べながら熱心に取り組む姿が見られました。

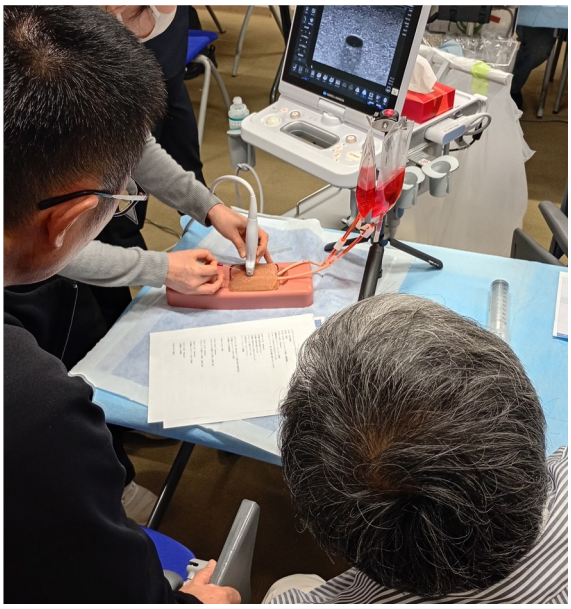
参加者アンケートでも高い評価



終了後の参加者アンケートでは、確認時点の回答 15 件のうち 14 件が、ハンズオンを「非常に役立った」と評価しました。少人数で質問しやすかったこと、十分に練習時間が設けられていたことなどに好意的な声が寄せられ、「またこのような研修を受けたい」という再受講への

意欲も示されました。実際の臨床現場への応用を意識した意見もあり、参加者の学習意欲がうかがえる機会となりました。

ご協力いただいた皆様に感謝を込めて



本セミナーは、講師・実技指導者の皆様、会場関係者の皆様、ならびにコニカミノルタジャパン株式会社、メディキット株式会社、KOTOBUKI Medical 株式会社のご協力により実現しました。各社には機材・実習物品をご提供いただくとともに、企業プレゼンテーションにて製品をご紹介いただきました。開催にご尽力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

茨城県臨床工学技士会 血液浄化ワーキンググループでは、今後も日々の臨床に役立つ知識と技術を学べる研修機会の提供に取り組んでまいります。